

# BONZOUR JAPON

ボンズール

無料!!  
GRATUIT!!

ボンズールジャポン 第10号 / 2008年9月号  
N°10 9. 2008

## Le Corbusier Unité d'Habitation et Arles

特集 南仏ヴァカンス 第二弾

ル・コルビュジェの集合住宅、  
遺跡の街アルルを訪ねる旅

コルビュジェのユニテダビタシオンに泊まり、  
ゴッホゆかりのアルルで古代遺跡に迷う

<http://bonzour.jp>

# BOUCHE À OREILLE

## 日仏交流150周年記念 KAKEHASHI 2008 フランコ・ジャポネ・シャンソン コンサート



今年日本とフランスが国交を結んで150年という節目の年。シャンソンは戦後より日仏の文化をつなぐ存在となってきました。そして新世代のシャンソンもまた、様々な価値観を私たちに届けてくれることでしょう。

“KAKEHASHI 2008”では日本を代表するシャンソン歌手が、親しみのあるシャンソンの名曲の数々を日本語とフランス語で歌い魅了します。フランスからのゲスト、セシレームは、今のフランスのシャンソンをロマンティックに歌い上げます。素敵な雰囲気の音楽会で、音楽で日仏をつなぐKAKEHASHIを、存分にお楽しみください。

セシレーム Cecilem  
洗練された偉大なフランスシャンソン歌手たちの真髄を愛し続けるヴォーカリスト。1995年頃からフランスにおいてピアノの弾き語りコンサートを毎週欠かさずに行い、その活動は現在まで続いている。

※日程  
東京——10/22(水) PM7:30開演  
スイートベイジル STB139にて  
名古屋——10/23(木) PM6:30 / 9:15開演  
名古屋ブルーノート(予定)にて  
神戸——10/24(金)  
神戸文化ホール・大ホールにて  
千葉舞浜——10/26(日) PM6:30開演  
クラブクスピアルにて

※出演 伊東はじめ(東京・神戸・舞浜)  
大木康子(東京・神戸)  
かみやま由起(神戸)  
里かわら(東京・名古屋・神戸・舞浜)  
広瀬敏郎(名古屋・神戸)  
パトリック・メジエ(東京・名古屋・神戸・舞浜)

※主催 KAKEHASHI実行委員会  
※協力 ボンズールジャポン  
※後援 フランス大使館 日本シャンソン協会  
グローバルカルチャーイベント株式会社

※企画制作 東京 株式会社タイムオフィス  
神戸 有限会社ウインド・ミュージックカンパニー  
※コンサートお問合せ  
KAKEHASHI実行委員会(タイムオフィス内)  
TEL 047-350-6781  
<http://www.time-office.com/kakehashi>

## 「画家と庭師とカンパーニュ」 映画とおいしいワインで心地よいひとときを

画家としても著名なアンリ・クエコのベストセラー小説「私の庭師との会話」を、「クリクリのいた夏」のジャン・ベッケル監督が映画化。まばゆいほどの美しい自然の中で、ゆったり過ぎ行く時間と、いつしか忘れてしまっていた心の豊かさについて再び私たちに問う。珠玉の名演を誕生させました。出演は、孤高の画家に、「橋の上の娘」ほくろの大切なともだちの名優ダニエル・オートウイユ。カンパーニュの大地を愛し、野菜の成長にささやかな幸せを見出す庭師に、「家族の気分」でセザール賞に輝く、「ロング・エンゲージメント」「サン・ジャックへの道」の個性派ジャン・ピエール・ダルサン。夏のカンパーニュで繰り広げられる、心温まる二人の交流…見終わった後心地よさが胸に残ります。

また、オーガニックワイン専門店[Mavie] (店舗: 赤坂)では映画にちなみ、「画家」「庭師」それぞれのイメージでセレクトしたワインを発売します。映画を楽しんだ後は、こちらのワインで爽やかな夏のひとときをお過ごしください。



Movieお問合せ:メール [info@mavie.co.jp](mailto:info@mavie.co.jp) TEL 03-5622-9066



【ストーリー】  
家族や仕事に恵まれながらも、家族の幸せを築くことが出来なかった孤高の画家。小さな草花に愛情を注ぎその成長にささやかな幸せを感じる余命幾許もない庭師。老境に差し掛かった二人が過ごす。人生の終焉へと向かう静かで穏やかな日々。互いの名前を捨て、キャンパス(画家)、ジャルダン(庭師)と呼び合う二人に、やがて決別の時は訪れる…。  
[http://www.wisepolicy.com/dialogue\\_avec\\_mon\\_jardinier/](http://www.wisepolicy.com/dialogue_avec_mon_jardinier/)

※ Dialogue avec mon Jardinier 監督  
原色:ジャン・ベッケル  
※2008年8月2日(土)より  
Bunkamura ル・シネマほか全国にて順次公開  
※原作 アンリ・クエコ  
※出演 ダニエル・オートウイユ  
ジャン・ピエール・ダルサン  
ジャン・コッティンソンほか  
※製作年 2007年  
※製作国 フランス  
※配給 ワイスオリシー

# \*cadeaux\* [present]

応募方法

<http://www.bonzour.jp/>

から【アンケート】のバナーをクリックして質問にお答えの上、必要項目をご記入ください。

第10号  
アンケート締切  
10/6  
(月)



カルネ・ドゥ・ヴォワイヤージュより、  
ゴルトリ・モン・ラシャのお皿を1名様に

## Le Corbusier/Arles



ル・コルビュジェ  
ユニテ・ダビタシオンの  
ポストカード、  
2枚1組で2名様に



カマルグの塩と小さなスコップを  
セットで1名様に

tataより、  
リネン×レザー×アンティークリネン  
素材のバッグを1名様に  
<http://www.7b.biglobe.ne.jp/~tata-bynonatorstue>



tata  
亀井尚子・清水なおみ  
により、2008年活動を  
始め、かわいくて高のある  
大人のバッグをコンセプト  
にコレクション発表中。  
問い合わせ:046-871-5866

## 創刊1周年記念、南仏特集 マルセイユ、アルル、ル・コルビュジェ土産

おませしました!  
前号から創刊記念号として特集している南仏旅行のお土産を、一気にプレゼント。  
猫沢編集長が現地ではセレクトしたかわいものたちを、この機会に、ぜひゲットしましょう!



マルセイユの  
地ビール「ラ・カゴール」の  
オリジナルグラスをペアで  
1名様に

## Marseille



マルセイユ結晶「フー・デ・ナヴェット」の缶入り特製ナヴェットを1名様に  
(未開封賞味期限:2009年5月 開封後は1ヶ月以内にお召し上がりください)



パトリック・  
ノートルダム大聖堂の  
ネックレスを  
2名様に



その中から  
「スイミングプール」  
「モンパルナスの灯」  
「殿方御先遣はせ」の名作  
3タイトルを各1名様に

「LOVE!シネマ2500」第5弾

フランス映画のDVD  
全12タイトルが  
廉価盤  
(各¥2825税込み)  
でリリース中!



マルセイユ石鹸の専門店  
「オ・サヴォン・ドゥ・マルセイユ」の  
香りつき石鹸を  
2個セットで2名様に  
香りのチョイスはおまかせください!



## 特集 南仏ヴァカンス 第二弾 ル・コルビュジェの集合住宅、 遺跡の街アルルを訪ねる旅

コルビュジェのユニテ・ダビタシオンに泊まり、  
ゴッホゆかりのアルルで古代遺跡に迷う

フランスを代表する偉大な建築家、ル・コルビュジェ。  
彼が残した集合住宅が、マルセイユにあるのをご存知だろうか。  
しかもそこには、ホテルが併設されていて、宿泊することができる。  
Bonjour Japonがおくる南仏第二段は、この集合住宅ユニテ・ダビタシオンと、  
マルセイユから国鉄で1時間ほどの遺跡の街、アルル。  
夏を満喫する為だけの旅もいいけれど、知的好奇心を持って巡る旅は、  
あなたの新しい世界を広げてくれることだろう。  
南仏第一弾に引き続き、編集長・猫沢エミが訪ねました。

写真：Mika Inoué コーディネート：ゴトウヒロシ 文：猫沢 エミ

### 上手な旅のための、インフォメーション

TGVのBillet (ビエ/チケット) 予約と購入  
TGVのチケット予約には、フランス国鉄のインターネットサイトが便利。  
<http://www.voyages-sncf.com> チケットの受け取りは、出発時間前までにもよりの国鉄駅窓口、もしくは機械にて、サイト内で、変更やキャンセルもできる。予約完了後、リコンファームのメールが来るので、それをプリントアウトして持参すること。窓口で直接購入する場合は、もよりの国鉄駅 (Gard du Nord, Gard de Lyonなど) にて。

TGVのチケット購入をフランス語でやりとりするのはちょっと難しいので、出発地 (Lieu de départ) 行き先 (Destination) 出発日 (Jour de départ) 戻り日 (Jour de retour) 出発時刻 (Heure de départ) 人数 (Nombre de personnes) 席等 (Ter classもしくは2ème class) を書いた紙を見せるとよい。日にちの書き方は、日本と違って「23/05/2008」と日から書く。出発時刻は「Vers 14:00」など「Vers (〜頃)」をつければ、その前後のチケットを窓口の人が教えてくれるはず。マルセイユ行きのTGV発着駅はGard de Lyon (ガル・ドゥ・リヨン)。行き先駅は、Marseille St-Charles (マルセイユ・サン・シャルル) 所要時間3時間10分ほど。往復で150ユーロ前後。購入時期や各条件によって値段は変わる。

#### コンポステを忘れずに!

TGVに乗る前に、必ずこの機械で切符を切ること。  
切っていないと罰金の対象になることがあるので注意。  
TGV内では、新幹線のようにチケットの確認がある。



#### MarseilleからAriesへ

Marseill St-Charles (マルセイユ・サン・シャルル) 駅からSNCF (フランス国鉄) に乗り、Aries駅へ。所要時間は約1時間。片道13~15ユーロ前後。購入時期や各条件によって値段は変わる。  
TGV同様、こちらも <http://www.voyages-sncf.com> にてチケット購入可。

#### AriesからAvignon経由でParisへ戻る

Aries駅はTGVが通っていないので、Avignon (アヴィニョン) TGV駅までL.E.R.のバスを利用する。両駅とも、バス乗り場は駅のすぐ目の前。所要時間50分。片道7.10ユーロ。チケットは乗車の際、直接運転手から購入する。

● Aries-Tarascon-Avignonのバス運行時刻表

[http://www.laboutiquedestransports.com/pdf/ctm/regulieres/reg\\_arles\\_avignon.pdf](http://www.laboutiquedestransports.com/pdf/ctm/regulieres/reg_arles_avignon.pdf)



● Avignon

● Aries

Aix-en-Provence

Marseille  
Le Corbusier  
Unité d'habitation



# Arles アルル

## 二千年の歴史が今も息づく、古代遺跡の街

ケルト人が住み、ギリシャ人に植民地化された古代アルルは、かのジュリアス・シーザーの加護の下、ローマの一部となった。紀元前46年、シーザーの軍隊を退役した者たちがこの地に根付き、現在へと続くアルルの礎となる。街全体がユネスコの世界遺産に登録されているといっても過言ではないほど、この街には今も古代の時間が色濃く流れている。そして、19世紀を中心に多くの印象派の画家たちを魅了した、アルルの豊かな自然と光。小さな宝石のような街・アルルに迷う、不思議な時間旅行へ。

(アルル観光局)

### Office de Tourisme d'Arles

オフィス・ドゥ・トゥーリズム・ダルル MAP ①

Boulevard des Lices-13200 Arles Tél : 04.90.18.41.20

4~9月/9:00~18:45 1/2~3/31, 10~12月/9:00~16:45 日曜、祝日/10:00~12:45

☆まずはここで、アルルの市内地図をもらおう。Tシャツなどのお土産も充実している。



街をそぞろ歩けば、雲田気のある小道を見つけることができる。道の角々に立つ看板を目印に進もう。



当時は、華やかな舞台を支えたコリント様式の3本の柱が存在した。現在でも、そのうちの2本を見ることが出来る。



### Amphithéâtre-Arènes d'Arles (円形闘技場)

アンフィテートル・アレンヌ・ダルル MAP ②

B.P. 42 13633 Arles Cedex Tél : 08.91.70.03.70 Fax : 04.90.96.64.31

<http://www.arennes-arles.com>

5~9月/9:00~18:00 3.4.10月/9:00~17:30 11~2月/10:00~16:30

休: 1/1, 5/1, 11/1, 12/25 Billet : 5.50ユーロ

紀元80~90年に建てられたローマ様式の建造物は、25000人もの観客を収容できる巨大な楕円形の競技場。かつては、グラディエーターたちの戦いの舞台となったこの競技場では、現在、闘牛のメッカでもあるアルルの新しい戦いの舞台となっている。2008年、7月~9月4日までの間、毎週水曜の17時から、アルル闘牛学校の生徒による闘牛ショーが見れる。Billetは8ユーロ。Billetの購入は、直接円形闘技場窓口、もしくは電話にて。



### Théâtre Antique (古代劇場)

テートル・アンティック MAP ③

Place Henri de Bornier 13200-Arles

5~9月/9:00~18:00

3.4.10月/9:00~11:30/14:00~16:30

11~2月/10:00~11:30/14:00~16:30

休: 1/1, 5/1, 11/1, 12/25 Billet : 3ユーロ

紀元前1世紀末に建てられた、演劇用の劇場。5世紀初頭までは使われ続けていたが、この頃に、喜劇や異教の見世物に激しい敵意を見せていたキリスト教会が、サン・トロフォーム教会建造のための石切り場として使うようになり、その後、劇場跡は城壁化された。当時は10,000人の観客を収容できる円形競技場に次ぐ巨大な劇場だったが、現在では、階段席の跡などが残るのみ。修復工事が進められている。





### Saint-Trophime d'Arles (サン・トロフィーム教会)

サン・トロフィーム・タルム MAP ④  
Place de la République 13200-Arles  
Billet: 教会内は無料、回廊見学は、3.50ユーロ、 日産: 9:00~18:00

元々は、新約聖書に登場する聖ステファノのために建てられたバジリカ様式の教会だったが、11世紀、アルルの古代墓地アリスカンに収容されていた聖トロフィムスの遺体をこの教会に安置しなおすため、ロマネスク様式の現在の教会堂の原型が作られ、名前もサン・トロフィーム教会と改められた。教会自体もさることながら、美しい彫刻の刻まれた柱が並ぶ回廊は必見。麓まで登んだ気持ちにさせられる。



館内には、アルルの民族衣装に身を包んだ美しいマドモワゼルが、優しい笑顔で迎えてくれる。



ノーベル文学賞受賞詩人、フレデリック・ミストラルが1904年に受賞した際の賞金をつぎ込み、16世紀に建てられたカステラーヌ邸を郷土博物館として改装した。館内にはミストラルが収集したこの地方の様々な資料が展示されている。中庭では2世紀の小集会場遺跡後を見ることができる。

### Museon Arlaten

ムセオン・アルワテン MAP ⑤  
29,rue de la République-13200 Arles Tel : 04.90.93.58.11  
4.5.9月/9:00~12:00/14:00~17:30 (10月の火曜は16:30)  
8月の木曜/9:30~12:30/14:00~18:00  
月曜定休、休館月は10~1月 その他休館日: 11/1, 12/25, 1/1, 5/1  
Billet : 1ユーロ/18歳以下、月最初の日曜、月最後の水曜は無料



### CARNET DE VOYAGE (東仏地方圏)

カルネ・ドゥ・ヴォワイヤージュ MAP ⑧  
4 Bis rue Calade 13200-Arles Tel : 04 90 96 17 95  
3~10月/9:00~19:00 11月~2月/10:00~18:00  
1月休 (定休日なし)

この地方のお土産店として、ぜひお勧めしたいのがここ。特に、アヴィニョンの北に位置するル・ボエ・ラヴァルで作られている陶器ポルトリモン・ラシャは、独特の温かな色調としっとりした風合いが魅力。野鳥を形取った置物や、普段使いにぴったりのカフェオレ・ボウル、お皿など、欲しいものがありすぎて迷ってしまうそう。



### Le café de la nuit Vincent Van Gogh

ル・カフェ・ドゥ・ラ・ニイト・ヴァン・ゴッホ MAP ⑦  
11,Place du Forum-13200 Arles  
Tel : 04.90.96.44.56 定休なし/9:00~0:00

ゴッホの描いた名画「夜のカフェ」のモデルとなったここは、街の中心地、フォーラム広場で現在でも営業を続けている。絵画さながらの夜の風景を味わい、ぜひお楽しみを。

### Restaurant l'Escaladou

レストラン・レスカドゥ MAP ⑨  
23,rue Porte de Laure-13200 Arles  
Tel : 04.90.96.70.43  
水曜定休 12:00~14:00/19:00~22:30  
日・祝/11:00~17:00

アルルの地方料理といえば、なんといってもこの一皿。『boeuf gardian et son riz camarguais-ル・ブッフ・ガルディエン・エ・ゾン・リ・カマルグ』お隣のカルグ名産の米と、塩のいた牛の煮込みをどうぞ。前菜+メイン+デザートで18ユーロ。

